



■ 2021. 9. 28

経営改善の一助に、医療機器・診療材料検討委員会が中心となって同等機能で経済効果が見込める商品の見直しを進めています。

そして、院内で初めて【見本市(物品変更検討会)】が開催されました。今回の見直し検討商品は、コネクティングチューブやモニタリング電極、ガーゼ、注射パッチ等々です。実際に展示されているので直接製品のさわり心地や扱いやすさを確認することができました。使用する頻度が高い部署にはあらかじめ開催日時や場所の案内がされていたため、多くの職員で製品の評価ができました。勿論、看護職員だけではなく多職種職員が集い、3日間のべ102名が参加した【見本市】でした。

次はどのような商品が展示されるのでしょうか？

さあ、明日からも患者さんのため、病院職員のために頑張ります。

